

# チア！ ビジネスウーマン2006 in 東京

平成18年10月21日(土)

『輝く女性のワークライフバランス』

『仕事のやりがいとプライベートの充実』

(主催：東京・武蔵野・町田商工会議所女性会 後援：関東商工会議所女性会連合会)

第1部 (14:00～16:00) パネル  
 デイスカッションと第2部 (16:00  
 ～17:00) 参加者交流ティーパーティ  
 で構成され、主催の東京・武蔵野・  
 町田商工会議所女性会メンバーの他  
 にOLや学生・主婦など総勢約200名  
 の方が参加されました。

第1部のパネルディスカッション  
 で印象に残った言葉は、以下のとお  
 りです。

白石真澄氏(東洋大学経済学部教授)..  
 人の生き方の多様性を認めていく社  
 会となるようにしていく。そのため



コーディネーター／宮川俊二  
 (キャスター)



にも政治の場で発言するなど、制度  
 づくりが必要となる。評価、役割が  
 日本は明確でないため、能力を計る  
 尺度を作ることが大切。

パク・ジオアン・スックチャ氏(アパ  
 ショナータ, Inc. ワーク/ライフ・コンサ  
 ルタント)..  
 日本は、働き方に対する  
 意識改革が必要。長時間働いている

ということは、時給が低いというこ  
 と。ここにメスを入れて、付加価値  
 を高めていくことにもっと注力し、  
 メリハリのある時間の使い方をし  
 たい。

福井泰代氏(株式会社ナビット代表取締  
 役)..  
 女性起業家を作るとは簡単。  
 スター、カッコイイ人を作ると良  
 い。余裕のある人が出世する。好き  
 なことをするのが一番よい。あきら  
 めないでがんばる。ふんばる。自分  
 で切り拓く幸せを体感しよう。

コーディネーターの宮川俊二氏よ  
 り、日本語で「両立」というと50対  
 50をイメージするが、ワークライフ  
 バランスと読み替えると、その時々  
 で最適なバランスを保てば良いとい  
 う、柔軟な発想と行動ができるとい  
 う話がまとめの言葉にありました。

第2部のティーパーティー(参加  
 者交流懇親会)では、皆様、新たな  
 出会いを求め、熱心に相互紹介を  
 行っていました。パネリストの皆様  
 にも参加いただき、身近にパネリス  
 トの方たちと親交を深められるとい  
 う粋なはからいがありました。仕事

と家庭、公と私のバランスを取りな  
 がら、現在、活躍されている3人の  
 パネリストの方々のお話を聞き、刺  
 激になると共に、「私も明日からが  
 んばろう」と勇気づけられたひと時  
 でした。健康な心と身体のバランス  
 を保てば、自分も周りもHAPPY  
 になれます。

東京、武蔵野・町田商工会議所女  
 性会の皆様の企画力の素晴らしさ  
 も感じつつ、皆様充実した顔で会場  
 を後にされていたのが印象的でし  
 た。

(記：金岡真由美)



# 東京証券取引所・日本銀行視察会

平成18年11月7日(火)

最初に、東京証券取引所内の視察。株式の説明や東証の役割とは何かのビデオを見た後、テレビでも見覚えのある東証アローズの中へ入りました。かつての広大な株券売場立会場は、コンピュータ化に伴って2005年5月に「東証アローズ」として生まれ変わりました。世界の三大証券取引所は、東京、ニューヨーク、ロンドン。日本国内は、東京、ジャスダック、大阪、名古屋、福岡、札幌の6カ所です。大画面の前では、昔の手で行うサインをいくつか教えて頂きました。記念撮影をし、あつという間の1時間でした。

徒歩15分程に貨幣博物館があります。古代から現代までの様々な貨幣や貨幣に関する資料、海外の珍しい貨幣などを見ることができました。ここでは1億円分のお札の重さを体験することが出来ます。つぎに日本銀行を視察しました。日本銀行の使命は、物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資することと、決済システムの円滑かつ安定的な運行を確保し、金融システムの安定に資することです。設立は、明治15年。地下1階、地

上3階立ての石積み煉瓦造りで、現在、旧本館は重要文化財に指定されています。旧館地下金庫の総面積は1426㎡、第一扉の厚さは900mm、第二の扉は100mmです。壁、天井の煉瓦は建築当時(明治29年)のままとなっており、アーチ状の様式が、関東大震災から日銀を救ったとも言われています。

また、二・二六事件で暗殺された高橋是清は歴代で最も有名な日銀総裁です。しかしお札の決定権は総裁ではなく、財務大臣が持っています。ここには1000億円分の銀行券バックや硬貨専用袋などが展示、



有価証券などを保管していた部屋も見学。お札が破損した場合の交換条件について又、リサイクル状況など、お札についての知識を得ることが出来ました。(記：鈴木紀子)

# 第1回 新会員とのランチミーティング

平成18年12月15日(金)

参加者65名(内新入会員29名)で会場は超満員。

吉川稲美副会長の挨拶ならびに女性会活動についての総括説明にはじまり、交流部、研修部及び情報・広報部の3部各代表から部活動の内容が紹介されました。また、女性会員向けの情報伝達方法として、月1回送信されるFAX会報「会員情報コーナー」の活用を促す説明が行われた後、大半の時間を費やした持ち時間わずか1分間での自己紹介が駆け足で行われました。

この会は今後3回にわたって開催を予定されておりますが、新会員の方々が女性会に馴染み、定着することを願って、担当メンバーは知恵を絞って、限られた時間での有効活用を図っています。



今後の日程は、3、6、9月の各5日の予定になっております。是非、皆さまの手帳などに組み入れて頂き、ふるって参加願います。会員に満足していただける魅力ある女性会を育てるには、施策を充実するだけではなく、心から温かい気持ちを持って接すること、具体的には、会員同士が明るい挨拶を交わすこととか、相談しやすい雰囲気であらうか。胸襟を開いて新会員を受け入れましょう。(記：福原美里)



# 新年懇親会

平成19年1月25日(木)

下町の人情の息づく街での開催

隅田川の袂、日本橋にあるロイヤルパークホテルにおいて東商女性会新年懇親会が山口信夫日商・東商会頭をはじめ多数の来賓を迎え、開催されました。



【第1部】  
**ウエルカムコンサート**

アンドリュウ・コウジ・テイラー氏によるヴァイオリンコンサート。心に染みわたるような美しい音色に聞き入り、会場は静まり返り深い感動を覚えました。



【第2部】  
**懇親会**

司会進行は交流部の山口玲子リーダーが行い、開会の辞は吉川稲美副会長により「袖すりあうも他生の縁」低い確率の中での貴重な今日の縁を大切にして欲しいとの言葉で開宴しました。



はじめに齋藤朝子会長より挨拶。「東商女性会は、女性経営者同士の交流を深めるための努力を重ね、会員数も目標にしていた600名を超えました。ビジネスチャンスはもとより、社会的な発言力を高め、さらに政策実行力を強めるための活動を行いたい」

続いて来賓の山口信夫会頭より挨拶。「女性会の毎年行われる新年会を楽しみにしています。商工会議所は中小企業に光があたる政策立案を図ってゆきたいと思っています。そこには女性会の実行力と華やかさで、そこに向かう私達に勇気と活力を与えて欲しい。会員に愛される商工会議所であるための努力を重ねたい」

来賓紹介の後、新入会員64名の紹介が行われました。今後の女性会の活動の力になって戴けることに期待したいと思います。

乾杯の音頭は恒例により小泉清子名誉会長により行われました。「女性会には美しいパワーを感じる。仕事も大切だが女性の愛と教育を持つ



て世直しのパワーにつなげて欲しい」との言葉が添えられました。

しばし歓談の後、恒例のお楽しみ抽選会。会員各々の運だめし。会場は抽選が当り幸運を得た会員の喜びの声、楽しい雰囲気です。小泉清子名誉会長提供の訪問着は久家道子常任理事が射止めました。

名残を惜しみつつ閉会の辞は安間百合子副会長より、来賓として会員への感謝の言葉があり、またの出会いを楽しみに、閉会となりました。

(記：佐藤廣子)



(撮影：是枝右恭)

